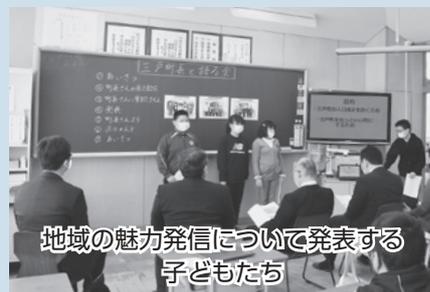


2/17 斗川小学校で「三戸町長と語る会」 豊かなふるさとづくりのために

小中一貫三戸学園斗川小学校（盛裕子校長）で「三戸町長と語る会」が開かれました。5・6年生の児童15人は、この日のために準備を進め、当日は松尾和彦町長から、町長の1日の仕事や、町が行っている取り組みなどを聞きました。その後、子どもたちは町長に町の人口減少対策として、地域の魅力発信についての案を発表しました。6年生の越後政哉さんは「多くの経験をしてきた町長の話の聞き、とても勉強になりました。大人になっても町の活性化に貢献したいです」と話しました。



地域の魅力発信について発表する子どもたち



山崎禰宜（左）と伊勢さん（右）

2/19 三戸大神宮がステンドグラスを設置 ステンドグラスの鮮やかさに見とれる

三戸大神宮は、八戸市在住のステンドグラス作家である伊勢ゆかりさん（三戸町出身）が手掛けた4色（青、緑、黄、赤）のステンドグラスを社殿に設置しました。4色それぞれは「移ろいゆく時代や季節」を、透明な模様は「人の心」を表しており、伊勢さんは「社殿に入る光を感じて、見る人の心と共鳴してくれたら嬉しいです」と話しました。禰宜の山崎貴行さんは「設置したことで光の入り方が少し変わり、神々しい雰囲気になったように思います」と完成を喜びました。

2/19 八戸学院大学と連携し、報告会と部会を開催 労働力不足の課題解決策を考える

三戸町地域担い手育成総合支援協議会は、農業現場の労働力不足の解決について検討するため、八戸学院大学と連携し、「補助労働現状調査報告会」と「第2回マネジメント部会」を中央公民館で行いました。報告会では、同大学の学生8人が行った「補助労働現状調査」についての結果を発表。部会では、話し合いを円滑に進行するファシリテータとして同大学の堤静子准教授を迎え、参加者17人が調査結果についての意見交換や、課題を解決する方法について検討を行いました。



地域課題の解決策を発表する学生



漢字一文字で目標を表した色紙を掲げる生徒たち

2/26 三戸中学校立春式 目標に向かって努力を誓う

小中一貫三戸学園三戸中学校（慶長隆光校長）の8年生69人が立春式を迎えました。立志宣言では、「約束事を守る集団になる・自分の言動に責任を持つ集団になる・仲間を大切に、安心して挑戦できる集団になる」の目標のもと、一人ひとりが決意の言葉を述べ、夢の実現に向けて、努力することを誓いました。学年PTA委員長の梅田久江さんは「立春式を機に、判断力と責任力を育てる学校生活を送ってほしいです」と激励の言葉を送りました。